


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年 11月 12日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第8号	質問議員	12番	富田 陽子	
件名	目指せ 日本一の投票率の町				
要 旨					
<p>全国的に選挙の投票率の低さが問題となっている。10月31日に行われた衆議院議員総選挙でも全国平均の投票率は55.93%で戦後3番目に低い投票率であった。一方山北町は、67.77%と県内1位の投票率の高さであり、住民の選挙・政治に関する意識が高く誇ることができる。だが、2012年の衆議院議員総選挙の投票率は70%を超えていて、投票する人が減っていることが伺える。</p> <p>要因として、若年層の政治離れに加え、町内では高齢化に伴い、投票所に自力で行くことができない人が年々増えているからではないか。社協のおでかけ号、共和の福祉バス、試行中の清水三保のデマンドタクシーと少しずつ便利にはなっているが、選挙のある日曜日には運行していない。高齢化が加速する中、この先10年後には、自力で投票所にいける人が果たしてどれだけいるだろうか。介護が必要な高齢者だけでなく、乳児を抱えた方、障がいのある方など外出することが困難な方にとって、SDGsの、“誰ひとり取り残さない”という視点から見ても、1票を投じる負担が大きいことは、政治に社会的弱者の声を汲むことができない重大な問題である。</p> <p>若年層の政治離れにも普段の日常や教育の中で、もっと身近に関心を持ってもらえる工夫、投票しやすい工夫が必要と思い質問する。</p>					
<p>① 期日前に移動式投票カーを町内に走らせて、各地区を回ったり商業施設に停留して投票しやすい仕組みに取り組んでは。</p> <p>② 投票日に社協のおでかけ号、共和の福祉バス等で臨時便が出せるよう予算がつけられないか。</p> <p>③ 働く子育て世代は仕事や育児に忙しく、指定の投票所で投票が難しいこともある。町長選挙、町議会議員選挙以外の選挙では、小選挙区内ではどこでも投票が可能になるよう、小選挙区内で連携が図れないか。</p>					

- ④ 選挙権がない年齢のうちから、選挙・政治の知識、関心を深め投票意欲を高める必要があると考える。選挙の出前授業や模擬選挙を教育の中に取り入れては。